

2018年2月度 高島屋営業報告

〔売上高 総計〕

(前年比 単位:%)

(株) 高島屋	Δ0.1
---------	------

(株)高島屋 および 国内百貨店子会社	Δ0.3
------------------------	------

〔店舗・事業部別 概況〕

(前年比 単位:%)

	売上高		入店客数			売上高		入店客数	
大 阪 店	+1.3	+1.2	+1.5	+1.2	大 宮 店	+3.9	Δ2.8		
堺 店	+0.7		Δ0.3		柏 店	+2.6	Δ2.2		
京 都 店	+3.8		+0.2		(株) 高島屋 国内百貨店13店舗	0.0	Δ0.5		
泉 北 店	Δ5.8		Δ1.0		岡 山 高 島 屋	Δ5.6	+2.0		
日 本 橋 店	Δ6.4		Δ0.6		岐 阜 高 島 屋	Δ4.7	Δ3.6		
横 浜 店	+1.1	+0.8	Δ1.4	Δ1.6	米 子 高 島 屋	Δ1.1	Δ2.9		
港 南 台 店	Δ3.2		Δ2.6		高 崎 高 島 屋	+1.0	+21.8		
新 宿 店	+5.0		+0.4		(株)高島屋国内百貨店 および 国内百貨店子会社17店舗	Δ0.3	Δ0.1		
玉 川 店	Δ0.4		+0.8		法 人 事 業	Δ6.4			
立 川 店	Δ31.0		Δ3.8		クrossメディア事業	+17.9			

※京都店の売上高は「洛西店」を含みます。

横浜店の売上高は「タカシマヤフードメゾン 新横浜店」「タカシマヤ スタイルメゾン海老名店」を含みます。

柏店の売上高は「タカシマヤフードメゾン おおたかの森店」、岡山店の売上高は「タカシマヤ フードメゾン 岡山店」を含みます。

〔商品別売上高〕

(前年比 単位:%)

	(株)高島屋	(株)高島屋および 国内百貨店子会社		(株)高島屋	(株)高島屋および 国内百貨店子会社		(株)高島屋	(株)高島屋および 国内百貨店子会社
衣料品	Δ1.5	Δ2.0	食料品	Δ0.3	Δ0.3	サービス	Δ14.4	Δ14.3
紳士服・洋品	Δ2.2	Δ2.0	生鮮食品	+0.0	Δ0.2	その他	Δ12.3	Δ11.4
婦人服・洋品	Δ0.5	Δ1.0	菓 子	Δ6.2	Δ5.5			
子供服・洋品	+0.1	Δ0.1	惣 菜	+1.9	+1.6	合 計	Δ0.1	Δ0.3
その他衣料品	Δ11.4	Δ13.0	そ の 他	+8.8	+8.2			
身のまわり品	+10.0	+9.4	食堂・喫茶	Δ1.6	Δ1.7			
家庭用品	+0.8	+1.0	雑貨	Δ3.7	Δ4.1			
家 具	Δ14.9	Δ14.9	化 粧 品	Δ3.9	Δ3.0			
家 電	+136.5	+131.3	美術・宝飾品・貴金属	+0.4	Δ3.4			
その他家庭用品	Δ7.3	Δ6.1	そ の 他	Δ10.5	Δ9.9			

○百貨店は、不安定な株式市場の心理的影響に加え、月初の降雪影響もあり、昨年7月度以来の前年比マイナスとなりました。なお、免税売上は前年比+14.6%となりました。

3月度の店頭売上は、14日までの累計が前年比0.0%、免税売上は同+27.5%で推移しています。

○店舗別では、大型店が大阪店・京都店・横浜店・新宿店は前年を上回りましたが、日本橋店が昨年開催した店外催事の反動影響が大きく前年に届きませんでした。郊外地方店では、堺店・大宮店・柏店・高崎店が前年を上回りました。

○泉北店・立川店・米子店は前年同月比で売場面積が縮小しております。

○法人事業は、前年に受注した大口案件の反動影響により前年実績に届きませんでしたが、クロスメディア事業はバレンタイン商材の好調などにより、6ヵ月連続前年比プラスとなりました。